令和８年１０月８日

保護者の皆様

川崎市立古川小学校
校長　　石塚　全

令和８年度　川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査
結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。４月９日（木）～１０日（金）に行いました４～６年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、４月２３日（木）に行いました６年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。

学校教育目標[目指す子ども像]
笑顔がたくさん古川小学校
～子どもたちが輝ける学校を目指して～

①知）主体的に学習に取り組める児童
②徳）豊かな心を持てる児童（古川の心）・
　　思いやりの心・認め合いの心・
　　感謝（ありがとう）の心
③体）健やかな体を持ち、自ら行動できる児童

古川小学校校内研究授業テーマ

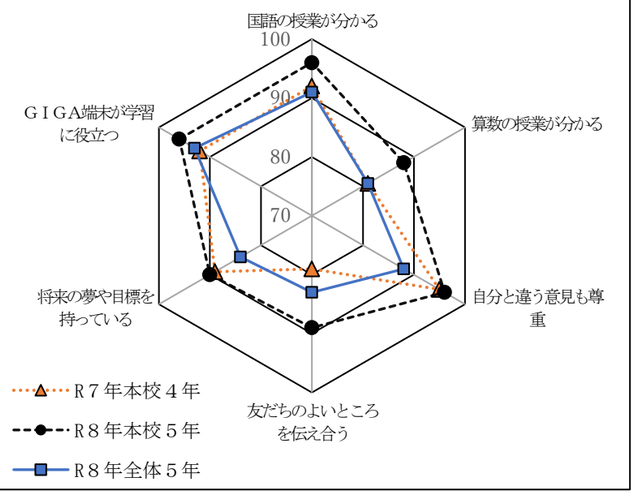
＜研究主題＞

「ともに学び合い、

自ら学び続ける子」

○各学年のレーダーチャートは、意識調査において「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答をした割合を示しています。表は、調査教科の問題において該当項目についての平均正答率（小数第一位四捨五入）を示しています。

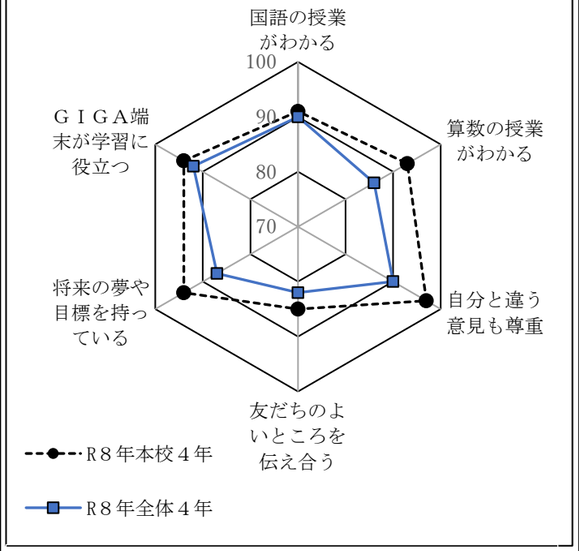
令和８年度　川崎市学習状況調査　５年生



	国語　読むこと	算数　知識・技能
R7 本校４年	79（全体 72）	85（全体 80）
R8 本校５年	56（全体 48）	74（全体 69）

・「国語の授業がわかる」は９６％と、川崎市の平均を上回り、学んだことをもとに書いたり、読んだりする力が身についています。今後も、お互いに考えを表現する場面を充実させ、学びの振り返りを大切にしながら、目的意識をもって学習に臨めるようにしていきます。
・「算数の授業がわかる」が８８％でした。知識・技能の正答率においても、５ポイント上回っています。課題を解くだけでなく、答えに至るまでの過程についてじっくりと話し合い、わかるまで学び合うことを大切にした授業の成果が表れています。今後も子どもたちの「なぜ？」や「やりたい！」を大切にし、自ら学ぶ態度の育成に努めます。
・「自分と違う意見も尊重」は９６％、「友達のよいところを伝え合う」は８９％と、高い値を示しています。今後も、各教科の知識技能を身に付けるだけでなく、一人一人の考えの違いや友達と学ぶよさを実感し、互いを認め合えるような温かい学級づくりを目指します。

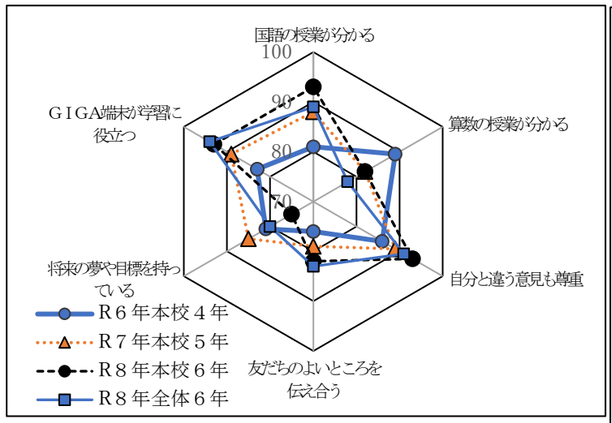
令和８年度　川崎市学習状況調査　４年生



	国語　読むこと	算数　知識・技能
R8 本校４年	69（全体 59）	79（全体 77）

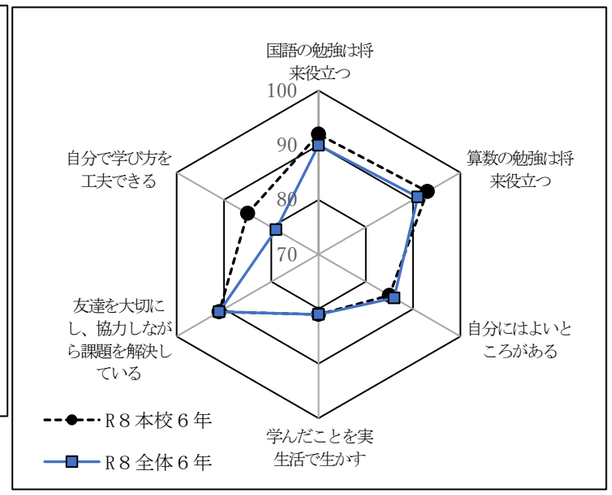
・「国語の授業がわかる」は９０．５％でした。「読むこと」の平均正答率が６９．２％と、川崎市全体の平均（６１．７％）を大きく上回っています。これまで、自分の思いや考えを表現することを大切にした授業づくりに取り組んできた成果が表れています。今後も、友達の文章や考えを参考にして新しい視点を持つ活動を充実させ、考えを論理的に書いたり、話したりする力をさらに伸ばしていきます。
・「算数の授業がわかる」は９２．７％でした。知識・技能の正答率が８９．９％と非常に高く、基礎的な内容がしっかりと身についていることが分かります。意識調査でも授業への理解度が非常に高く、意欲的に取り組む姿勢が見られます。今後は、習ったことを活用して筋道を立てて考える力（思考・判断・表現）をさらに高めるため、図や式を用いて自分の考えを説明したり、友達と解き方を伝え合ったりする活動を一層推進していきます。
・「自分と違う意見も尊重している」は９７．１％でした。互いの考えを認め、共に学び合おうとする学級づくりの成果が顕著に表れています。また「友だちのよいところを認め合っている」児童も８４．６％に達しています。今後もペアやグループでの話し合いを通して、自分とは違う考えを自分の学びに繋げ、友達と学び合う良さを実感できるようにしていきます。

令和８年度　川崎市学習状況調査　６年生



	国語　読むこと	算数　知識・技能
R6 本校４年	45（全体 45）	76（全体 74）
R7 本校５年	64（全体 59）	74（全体 76）
R8 本校６年	55（全体 55）	71（全体 69）

全国学力・学習状況調査　６年生



	国語　知識・技能	算数　図形
R8 本校６年	61（全体 62）	66（全体 55）

・川崎市調査「国語の授業がわかる」は９３％、全国調査「国語の授業は大切」は９２％となっており、全国平均を上回りました。今後も、言葉の意味に着目して表現の工夫や効果などについて考えることを大切にしたり、文章を根拠に自分の考えを表現し、その考えを伝える力を高めたりする授業を展開します。
・川崎市調査「算数の授業がわかる」は４ポイント、全国調査「算数　図形」については、全国平均を７ポイント上回っています。問題を解決するだけでなく、解決にいたるまでの過程について話し合う活動を重視し、論理的に考え、表現する力を育てていきます。また、学びのよさを実感できるよう日常生活との関連を図りつつ、課題や困り感を共有しながら子ども主体の授業を目指していきます。
・川崎市調査「自分と違う意見の尊重」は、９３％でした。今後も古川小学校が目指している「ともに認め合い、自ら学び続ける子」の育成に向けて、多様な意見を伝え合う場を多く設定します。一人一人の成長やその子なりの学びを実感できるよう、日々の学校生活の中での委員会やクラブ活動、実行委員会等での活躍する姿を価値付け、互いを尊重できるような「古川の心」の育成に努めていきます。